



美術教育支援協会

発行・編集／事務局 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 4-20-11 電話：03-3398-9155 FAX: 03-3398-9158
e-mail: info@npoaesa.org HP: npoaesa.org

現在会員数:101名(協賛5社)含)



◆ 理事長ごあいさつ

理事長 谷岡 清

例年にも増して近隣諸国の動向を意識させられる昨今ですが、平和なくしては繁栄が望めない経済・文化志向の日本国民としては、心休まらぬ日々が続いています。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

最近、私の周りでは、中国へ旅する人が激減しています。日本の歴史や文化に関心が深い人なら、何を学んでも、その先に中国文化の影響を認めざるを得ないのが現実です。仏教美術であれ、書道の研究であれ、中国の存在を無視しては語れません。それだけに昭和50年代に中国旅行が一般に開放されたとき、北京に、上海に、西安に、敦煌に、と我先に訪れ、わが日本文化の源流の遺跡や文物を貪るように眺め入ったものでした。迎え入れる中国側も、経済発展国の観光客が落とす外貨は魅力的であり、要人に会っても、その熱意ある対応は、相思相愛とでも言うべき、きわめて良好な関係にありました。展覧会などの文化催事を通じた人的・物的交流が活発化したのは言うまでもありません。

しかし、最近は、企画されていた交流事業なども中止され、旅行に行く人さえ断念する状況は、どう考えても正常な姿とは言えません。島の周辺にどれだけ石油が埋まっていたとしても、無益な神経戦や戦争で費やす人的・経済的損失に比べれば、何の意味もありません。われわれには受け継いできた文化遺産を、未来の子孫に万全な形で受け渡していく義務と責任があります。歴史ある両国民の冷静な対応と、平和的解決への努力に最大限の期待をかけるしかありません。

◆ 今年の土曜フォーラム 6月1日と今年秋に開催予定！

■ 6月1日「シルクロードの美術と日本文化」講師・谷岡 清 14時～16時半 荻窪地域区民センター

■ 今年の「土曜フォーラム・世界の美術館」も内容充実 乞うご期待 講師＝谷岡 清

昨年の「土曜フォーラム」は、世界の美術館の第4弾で、多くの方々にご参加いただき、好評のうちに終了することが出来ました。今年のテーマを決めるため皆様のアンケートのご意見を拝見したところ、世界の美術館シリーズの継続を希望される方が多く、今年も選りすぐった美術館をご紹介しますことにしました。ユニークながら内容の充実した美術館ばかりですから、今年もぜひお誘い合わせの上、至宝の数々をお楽しみください。会場や日時が決まり次第、お知らせいたします。

ギリシャ： イラクリオン考古学博物館とクノッソス宮殿

エーゲ海のクレタ島は、古代文明の宝庫。迷宮で知られる王宮の遺跡と発掘された陶器などのおおらかな造形、および通称「パルティエヌ」の美人壁画等、見どころ多数。

イタリア： ナポリ美術館とポンペイ遺跡の生々しい発掘現場

「美尻のビーナス」や「ヘラクレス像」などギリシャ・ローマ美術の粋を集めたナポリ美術館と、大噴火で一瞬のうちに灰で埋まったポンペイの街には当時の怪しげな絵も。

イギリス： ロンドン・ナショナルギャラリーの名画の数々

大英帝国の威信をかけて世界有数の画家の名画を集めつくしたこの美術館には、きわめて質の高いヨーロッパ絵画の最高傑作が所狭しと展示され、見る者を圧倒する。

フランス： パリのギメ美術館と東洋美術の貴重な発掘品の展示

インド、アフガニスタン、中国、日本など、早くからアジアの遺跡発掘に力を入れたフランス考古学発掘隊の成果が一堂に展示され、彫刻・絵画等充実した内容を誇っている。

※今年も日程が未定です。3ヶ月前からでないと会場が予約できませんので、ご了承ください。



◆ 2012 土曜フォーラム（世界の美術館の旅Ⅳ）報告

2012 年土曜フォーラムは下記日程にて秋に開催をいたしました。会員の皆様にも多数ご参加いただきまして、4日間の合計で延べ147名のご出席者を数えました。ありがとうございました。また、ボランティアでお手伝いをいただきました皆さまにも重ねて御礼を申し上げます。

於：杉並区・荻窪地域区民センター（東京都杉並区荻窪 2-24-20）各日共：14時～16時半 講師・谷岡 清

・第一回 H24/10/13(土)『オリンピア美術館とデルフィ美術館』ギリシャ・第二回 H24/11/10(土)『オランジュリー美術館とモネの庭』フランス ・第三回 H24/11/17(土)『アムステルダム美術館と巨匠レンブラント』オランダ ・第四回 H24/12/1(土)『カーブル博物館とバーミヤン遺跡』(アフガニスタン)

◆ 2012 年土曜フォーラムに参加して

I. 夢のある「土曜フォーラム」 平澤 嘉之・悦子

最初に土曜フォーラムの通知をもらった時は、どのようなお話を聞けるかと、楽しみに伺いました。

なんと、諸外国の素晴らしい風景や珍しい事、楽しい事、不思議な事、そして世界の美術等、スクリーンを見ながら谷岡先生の巧みな語り口（ユーモアたっぷり入り）を一つ一つ納得しながら、また感心して聞き入ってしまいました。自分たちが行ったことのない所や普通では行けない場所などを克明に描写し、話を盛り上げて一層楽しませてくださるなど、谷岡先生の優しいお人柄に感謝しています。

余談ですが、参加している私たち数人は、谷岡先生とは同期で、小学校からの友人です。今お互いにこの年になって皆元気で会に参加することが出来、幸せに思っています。どうぞこれからも素晴らしい企画で、知らない世界を沢山教えていただくのを楽しみにしています。また、終わってからの懇親会も、いろいろな話題で盛り上がり、多くの方々とも交流が広がって、毎回とても楽しく過ごさせていただいており、事務局の皆様のお世話に感謝しています。今後、どんなお話を伺えるのか、どんな世界へ連れて行ってくれるのか、この会が末永く続いていきますよう、心から希望しております。



土曜フォーラム会場風景

II. 土曜フォーラムを受講して 田坂 洋

「日本ではカブルですが、現地ではカーブルと云っています。」そしてアフガニスタン(カーブル、バーミヤン等)の地図が映し出される。

最初に地図上で何処か？これでその後の話しを聞くのがぐっと身近(楽)になる。

アレキサンダー大王も玄奘(じょう)三蔵もここを通った。

なるほど・・・このシルクロードは仏教とは縁が深いのだ。・・・カーブル博物館・バーミヤン溪谷の大仏の映像の数々、そして大仏の頭上から下界を見下ろした、ここでしか見られないアングル。クレーンも機械も無い時代によくこれだけ大きな大仏を造ったものだと思う。・・・この素晴らしい世界の遺産をイスラム原理主義と云う他の宗教が破壊したのである。

宗教というドグマ(教義)の恐ろしさを改めて感じる。

又、一党独裁の共産主義国家であった旧ソ連軍もアフガニスタンで遺跡を壊している。歴史は繰り返すと云うけれど憤りを感じずにはおれない。

奈良、京都は太平洋戦争で爆撃を受けずに残った。・・・不幸中の幸いである。

そうだ、後10年もすれば老人の域だ(今、60代前半)。古の都で余生を楽しみたいなー！

古都といえば川端康成先生が東山魁夷画伯に依頼して描かれた風景画だ。京洛四季・代表作(花明り)・・・

そして、川端康成先生がノーベル賞を受賞したときの記念講演で

『春は花 夏ほととぎす 秋は月

冬雪さえて 冷しかりけり』の歌を引用して、

四季(美)との関わりを述べられた。

今後の土曜フォーラムで、是非、日本画をお願いします。

2013年6月1日
 土曜フォーラム
 特別セミナーのご案内
 「シルクロードの美術と
 日本文化」
 講師・谷岡 清
 場所：杉並区荻窪地域区民
 センター
 14:00～16:30
 会員・事前申込 1000円
 当日一般：1200円
 申込書はホームページから
 ダウンロードしてください。
 FAX 送付か電話にて。
 ホームページ: npoaesa.org
 Tel: 03-3398-9155
 Fax: 03-3398-9158

■募集！ 理事長・谷岡 清と観に行く美術館日帰りツアー 参加費・会員／フォーラム出席者 19,000円
 予定は7月11日(木) ※最少催行人数10名 ツアー確定は7月5日までに参加申込者にご連絡します
 8:30 荻窪駅南口集合 ⇒ 北杜市長坂町 平山郁夫シルクロード美術館 ⇒ 昼食 ⇒ 三分一湧水 ⇒
 星野リゾートホテルリゾナーレ見学 ⇒ 道の駅 こぶちざわ ⇒ 清春白樺美術館 ⇒ 新宿着 18:00

◆ 2012年度事業報告 2012 (H24) . 4. 1 ~ 2013 (H25) . 3. 31

- | | |
|--|---|
| 2012/4/1 新年度スタート
4月より毎月 CrazyCats 美術講座 月3回開催
6/29 6期第一回理事会
11/23 第二回理事会
10/13 土曜フォーラム第1回「オリンピア美術館とデルフィ美術館」
11/10 // 「オランジュリー美術館とモネの庭」 | 11/17 // 「アムステルダム美術館と巨匠レンブラント」
12/1 // 「カーブル博物館とバーミヤン遺跡」
1/24 第三回理事会
6月ごろに土曜フォーラム セミナー開催計画
3/1 CrazyCats 講師都合で4ヶ月休止
3/15 9月~12月 土曜フォーラム4回分開催項目決定 |
|--|---|

◆ 世田谷作業所『Crazy Cats』報告

世田谷区梅が丘の Crazy Cats 作業所において、当 NPO から派遣されている美術教室講師：横山ジュリアナナ先生が出産休暇を取得されていましたが、6月より復帰される予定です。2月まで月3回の美術教室を開催していましたが6月から月2回に変更して継続いたします。主に染色教室やステンシル教室、消しゴムはんこ教室など生徒の皆さんの興味を引く内容を考えて進めています。CC 作業所からは大変感謝されております。

【スタッフブログから】今日は美術クラブがありましたが、何人かのメンバーさん二人の作品がどちらも牛でした。どちらも良い出来だと思います。だんだんメンバーさんも上手くなってきていると思います。(モウ治朗)



◆ 理事 J.O のブログから

フランス・スペイン 23 日間美術館行脚から (http://prehard.jp ⇒ スタッフブログ より)

【ルーブル美術館にて】

以前訪問したときにもしっかり見た絵ですが、今回も楽しみにしていました。以下 2 点のコメントです。



フェルメール
 「レースを編む女」
 24x21cm
 ホントに小さい絵です。

そして、この絵がある部屋に入ったら、右手前奥の端っこに飾られているので、見逃しそうです。でも、ガイドブックに注目の絵として入っているのか、アジア系の(たぶん日本人ですね)方が次々と写真を撮っていました。そして、この作品を模写しているおじいさんがいました。イーゼルを立てて描いていて、ほぼ出来上がっていました。

通って描いているのでしょうか。他にも沢山の画家さんが模写をしていましたが、このおじいさんが、一番上手でしたよ。ルーブルって撮影 OK、模写 OK なのですよ。これってすごい事ですよ。うらやましい。さすが芸術の都、進取ある若い芸術家の卵や市井の芸術家のために、勉強の場を提供しているのでしょうか。※日本では東京国立博物館、西洋美術館は三脚フラッシュ禁止で撮影 OK です。模写は許可制。

この周りは、ほとんどがレンブラントの絵でした。



レンブラントの「自画像」

◆ コラム ちょっとひと休み

ラファエロ展 (2013. 2. ～2013. 6. 2 まで) を観て

上野の西洋美術館で開催されている『ラファエロ展』に行ってきました。
お花見の宴も終わって葉桜となり、初夏を思わせる快晴の上野公園は新緑の緑が眩しい素晴らしい景色でした。

その一角にある西洋美術館は前庭にロダンの彫刻が配置され、いかにも“西洋“を匂わせる設計です。
イタリア・ルネッサンスを代表するラファエロ・サンツィオ (1483-1520) は西洋絵画を代表する画家で、その後 19 世紀半ば迄の多くの画家達の絶対的手本とされ、近現代の芸術家にも多くの影響を与えた画家でした。残念なことに 37 才という若さで病没しました。出品作品の内、『りんごを持つ青年』の赤色のトーンの精密さ、『大公の聖母』の荘厳さは、後でバックが黒く塗りなおされたいきさつ等、興味深く観させていただきました。緻密な筆跡は印刷物では感じられない、本物の素晴らしさを観る人に与え、深く感じ入った次第です。(M.A)



◆ 事務局より会費納入のお願い

【第 6・7 期会費納入のお願い】

お蔭様で現在 101 名の会員 (協賛会社含む) の方々がいらっしゃいます。つきましては次年度も変わらず会員継続をお願いしたいと存じます。お手数ですが **6 期の会費がまだの方 (H24. 4. 1～H25. 3. 31)** と新たに **7 期の会費 (H25. 4. 1～H26. 3. 31)** 各期 3,000 円を下記へお振込みいただきますようお願いいたします。
(H25. 1. 1 以降ご加入の会員様は有効期間を H26. 3. 31 としてお取り扱いいたします)

- 三菱東京 UFJ 銀行・荻窪支店：普通 1792572 トケヒエイカトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 三井住友銀行・荻窪支店：普通 0568070 トケヒエイカトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ
- 郵便振替 00140-2-318540 トケヒエイカトウホウジンビジュツキョウイクシエンキョウカイ

◆ 事務局長から・今年の (2013 年度 Vol.5) 会報お届けにあたって



新文化庁長官 近藤 誠一さんは OECD 事務局長、デンマーク大使を経て 2010 年から現職であられます。以下のような表現で日本の芸術のグローバル化を唱えておられます。

曰く『もっと芸術を生活の一部として当たり前のように人生の中に文化を取り入れるようになればと願っております。』・・・と。加えて『芸術の素晴らしさ、あるいは人間を人間が接することの価値を体感することで創造性が湧き人生が面白くなり、明日が楽しみになるわけですね～！伝統の手工芸でも現代パフォーマンス系の芸術でも、子供たちが良いものに触れることのできる社会教育の必要性を最近強く感じます・・・』と述べておられます。

我々 NPO 美術教育支援協会の趣旨にもご賛同いただけるものと感じた次第です。

経済再発展のスタートを切った新政権に期待する所大なるものがございます。

2013 年 4 月 30 日

事務局長 簗島 紘一

※ 例年美術館入場券を配布いたしておりましたが、諸般の事情により今年度は中止させていただきます。